

# 非結晶性高分子材料の降伏に関する新発見とその応用

著者	北川 正義
著者別表示	Kitagawa Masayoshi
雑誌名	平成17(2005)年度 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究成果報告書
巻	2004-2005
ページ	2p.
発行年	2006-03
URL	<a href="http://doi.org/10.24517/00049338">http://doi.org/10.24517/00049338</a>



---

# 非結晶性高分子材料の降伏 に関する新発見とその応用

---

16560064

平成16年度～平成17年度科学研究費補助金  
( 基盤研究 (C) ) 研究成果報告書

平成18年3月

研究代表者 北川正義  
金沢大学 自然科学研究科 教授

金沢大学附属図書館



0800-04186-0

<はしがき>

非結晶性高分子材料の納入(AR)および焼き入れ(Q)材で発見した降伏現象を詳細に研究することは、高分子材料の降伏機構を調べる上で重要であると考え、実験を企画した。その結果、ARとQ材の降伏の違いは分子鎖の動き易さに原因することを推定した。さらに、AR材においても、様式の違う降伏が起こるという現象を新たに発見した。

研究組織

研究代表者 : 北川正義 (金沢大学自然科学研究科)

研究分担者 : 山田良穂 (金沢大学自然科学研究科)

交付決定額(配分額)

(金額単位:円)

	直接経費	間接経費	合計
平成16年度	3,100,000	0	3,100,000
平成17年度	600,000	0	600,000
総計	3,700,000		3,700,000

研究発表

(1)学会誌等

- ・北川正義, 小崎高祐, ポリプロピレンの ECAP 加工, 材料, 55, 37-41, 2006.1.
- ・北川正義, 西 大輔, 焼き入れした非結晶性高分子材料 PC, PVC および PET の疲労き裂成長, 材料, 55, 61-65, 2006.1.

(2)口頭発表

- ・北川正義, 非結晶性高分子材料の降伏と応力-ひずみ関係の問題点, プラスチック成型加工学会, 2005.11.24-11.25.

(3)出版物 なし

研究成果による工業所有権の出願・取得状況

なし